

建設水道常任委員会会議記録（概要）

平成23年3月7日（月）

開 会（午前9時00分）

○議案第16号「平成23年度所沢市水道事業会計予算」

【補足説明】なし

【質 疑】

赤川委員 職員福利厚生費は昨年度に比べて削減しているようだが、どのくらい削減しているのか等、内訳を伺いたい。

木下総務課長 平成23年度については、職員福利厚生費として149万8,000円を計上しています。

平成22年度については、福利厚生委員会交付金328万3,000円を含めた総額383万3,000円を計上していましたので、およそ230万円を減額しています。

赤川委員 どの項目を削減したのか。

木下総務課長 福利厚生委員会への交付金を平成22年度の328万3,000円から平成23年度の149万8,000円に減額しましたが、事業内容については新年度の福利厚生委員会において新たな交付金額の範囲で事業を実施するよう審議していただくこととなります。

赤川委員 本庁と比較すると、人数から考えればまだ努力できるのではないかと感じるが、組合との交渉を含めた今後の考えを伺いたい。

木下総務課長 平成23年度の水道部の福利厚生委員会交付金については、職員一人あたり1万4,000円で計上しており、この額は平成22年度の市長部局の福利厚生委員会交付金が一人あたりおよそ1万4,000円であることから、これに合わせて減額したものです。

赤川委員 平成23年度は22年度に比べてどのような水需要を予測しているのか。

木下総務課長 平成22年度については、夏の猛暑等により一時的に給水量が増加している状況にありますが、ここ数年間を見ますと長引く景気の低迷による大口使用者の使用量減少や節水意識の定着、節水型機器の普及などにより給水量は伸び悩みの状況にあると認識しています。このようなことを勘案しまして平成23年度の給水量については、22年度の予定給水量と比べて横ばい状況と考えていますが、平成23年度は閏年で通常年より1日多いため、その分を加味し、98,000 m^3 の増と給水量を予測しました。

赤川委員 平成22年度とは閏年の1日分のみの数値が違うということか。

木下総務課長	閏年の1日分を見込み、98,000 m ³ 増加としました。
小林委員	県水については毎年、契約しているとのことだが、契約内容を伺いたい。
山路配水管理 課長	契約については、11月に次年度の県水需要を県へ報告、申し込みをすることになっていますので、当市は10月から11月にかけて次年度の予測を立てて県水の申込みをしています。
赤川委員	県水の価格は市にとって重要な点だと思うが、平成23年度の見込み価格を伺いたい。
山路配水管理 課長	平成23年から25年までは現在と同額で据え置きと決定しています。
小林委員	水道庁舎の会議室を市民に開放してもらえないかとの話を受けるのだが、稼働率を伺いたい。
木下総務課長	水道庁舎の大会議室の貸し出し状況は、平成19年度に2件、20年度に1件、21年度に1件あり、22年度は現在まで実績がありませんでした。

小林委員 大会議室は何人収容でき、また、当初の貸出し目的は何だったのか。

木下総務課長 大会議室の収容人数は、約140人です。貸出しについては内規の「貸出しの手引き」に基づき、公用、若しくは公共用または公共的活動のための会議等の集会の用に使用することができることとなっており、その際は行政財産の目的外使用として貸出しを行っています。

小林委員 市民への開放の検討を行ったことはあるのか。

木下総務課長 部内で何度か検討した経緯はありますが、大会議室は庁舎3階にあり、1、2階の事務スペースを通り抜けなければならないため、管理上、地方公共団体等の公共的団体への貸出しとの結論に至っております。

小林委員 管理上の問題があるとのことだが、例えば、ガードマンの配置や大会議室まではエレベーターのみを使用するといった考えもあるかと思うが、検討しなかったのか。

木下総務課長 ガードマンについては、午後5時以降は常駐していますが、午後5時以前の職員が勤務している時間には常駐していない状況です。また、駐車スペースが狭いことから窓口にお見えになる利用者で一杯になる状況もありますので、現行のとおりとしています。

小林委員 駐車スペースについては、一杯であればお断りすればよいことであり、昼間にガードマンがいなければ職員が対応することもできると思うが、検討の中で話は出なかったのか。

木下総務課長 現在は、「貸出しの手引き」の基準に基づいた貸出しを行っていきたいと考えています。

高田委員長 新築の加入金はどのくらいを見込んでいるのか。

木下総務課長 平成23年度の加入金の件数は、22年度と比較して200件増加の1,655件を見込んでいます。

高田委員長 平成24年度の見込みはどうか。

木下総務課長 現時点で24年度の見込みは行っていないませんが、住宅の着工件数は近年、横ばい状況にあり、平成23年度については、小手指のツインタワーなど大口のマンションが建設されることから200件増を見込みましたが、今後はこのような大口のマンション建設も予定されていないことから横ばい状況ではないかと考えています。

高田委員長 横ばいとは200件ずつ程度は増加していく意味での横ばいなのか。そ

れとも、平成23年度は増加したが、平成24年度は元に戻って加入金は減額する見込みなのか。

木下総務課長

平成23年度と比較すると、増加分は減額する可能性もあるかと考えています。

【質疑終結】

【意見】なし

【採決】

議案第16号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第32号「所沢市下水道条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

福原委員 埼玉県下水道協会が実施する下水道排水設備工事責任技術者資格認定
共通試験とのことだが、下水道協会以外の協会はあるのか。

北田下水道総 全国組織として公益法人の日本下水道協会があり、その下部組織として
務課長 各地方の支部、さらにその下部に各都道府県の下水道協会があります。

福原委員 この共通試験以外に、この類の資格試験はあるのか。

北田下水道総 以前は、埼玉県においては独自で試験問題を作成していた経緯がありま
務課長 したが、現在は大半が日本下水道協会の作成する共通試験内容を各都道府
県下水道協会採用している状況です。

福原委員 この共通試験の合格率はどのくらいなのか。

中村下水道維 合格率は、56.55パーセントです。
持課長

小林委員 この試験に埼玉県で合格して他県にいった場合は、再度、資格を取得し

なければならぬのか。

北田下水道総
務課長

他県にいった場合は、再度、他県の試験を受けることとなります。

【質疑終結】

【意見】なし

【採決】

議案第32号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第10号「平成23年度所沢市下水道特別会計予算」

【補足説明】なし

【質 疑】

福原委員 下水道使用料徴収事務委託料についてだが、平成25年度に企業会計を予定しているかと思うが、企業会計になった場合の徴収事務委託料は変更するのか。

北田下水道総務課長 平成25年度に地方公営企業法の適用準備を進めていますが、委託料については下水道使用料を徴収するために水道部に依頼しているものであり、水道部の負担区分もあることから大きな動きはないと思います。

福原委員 上下水道を一緒にしている他自治体もあるが、本市としては別々の企業会計ということでよいのか。

北田下水道総務課長 仮に統合した場合においても会計自体は水道会計と下水道会計で別々になります。

荻野委員 最近、スーパー銭湯などで下水道使用料を過少申告するケースがあるようなのだが、市内にはスーパー銭湯は何箇所あり、調査や対策は取っているのか。

北田下水道総務課長 昨年の夏頃にスーパー銭湯の過少申告が問題になりましたが、当市内には4箇所あり、その事件を受けて4箇所の現地調査と図面の確認を行い、不正は何もありませんでした。

赤川委員 下水道管渠築造工事請負費の中で、市街化調整区域で予定している工事費はいくらといった分類はしているのか。

鈴木下水道建設課長 工事費の内訳ですが、第2期に関しては約8億円です。

赤川委員 事業仕分けで指摘され、市としての対応が報告されている。市は市街化調整区域の下水道事業については、合流改善事業を優先し、その間に見直しを行うものとするということだと思うが、今後、どのように行っていくのか。

鈴木下水道建設課長 事業仕分けの結果については、第2期整備期間5年間の3年目に入っているため計画的に進めてよいとのことで、3期以降については、色々な事業が出てきたことから総合的に検討していきたいと考えています。

赤川委員 事業仕分けされたからということではなく、負担金が重くのしかかる利用者がどのような意向であるかの調査は行ってきたのか。

鈴木下水道建設課長 負担金や下水道に対する利用者の意向については、決定している第一次計画の中で費用対効果等を考え、区域の検討をしていきたいと考えています。

赤川委員 利用者に聞き取り調査やアンケートを取ったりはしているのか。

鈴木下水道建設課長 アンケートは取っておりません。

赤川委員 今後、公営企業化という大きな目標があり、事業会計が重くのしかかってくることから住民の意向をきちんと把握するためにアンケートを実施していくべきだと思うが、どのように考えているのか。

鈴木下水道建設課長 住民に対して意向アンケートを取ることも一つの方法かと思うので、その点も含めて検討していきたいと思います。

赤川委員 市街化調整区域の下水道事業と公営企業化との関係についての今後の方向性を伺いたい。

北田下水道総務課長 公営企業に移行すると独立採算制が原則ですので、当然、事業を行うにあたっての財源が必要になります。今までに繰入金等もかなりいただいて

いる状況もあることから公営企業適用後は財源に見合った事業を検討し、他事業も含めた総合的な経営計画を策定、実施していかなければならないと考えています。

高田委員長

市街化調整区域に下水道をつなげていくと公益施設が次々とできるものだが、負担金の割合はどのようになるのか。

北田下水道総務課長

第2期の区域以外の市街化調整区域については区域外接続となり、分担金をいただいています。流入しようとする敷地に対して、受益者負担金と同額の1㎡あたり1,000円の分を賦課させていただいています。

高田委員長

公益事業については税金が付かないかと思ったが、受益者負担金と分担金が同額というのは、税の公平性に欠けているのではないか。

北田下水道総務課長

市街化調整区域ということで区域外の接続となり、当然、一般の家庭もあれば公共施設の接続もありますが、受益者負担金をいただいている方々と同等な負担を考えています。

高田委員長

市街化区域でも例えば、受益者であれ公益施設であれ、都市計画税を投入するかと思うが、差別化はどのように図っているのか。

北田下水道総務課長 1 m²あたり 1,000 円の分担金の中に都市計画税相当分を見込んでおり、受益者負担金と同等と考えています。

大石委員 荒川右岸流域下水道事業負担金について、今後、この負担金がどのように推移していくと予測しているのか。

北田下水道総務課長 現在、和光市にある水処理センターで全体計画 5 系列目を整備しており、平成 23 年度をもって終了します。今後は、次の第 6 系列の水処理施設の建設に加えて、第 1 から第 4 系列水処理施設の高度処理や地震対策事業が順次、進められていく予定です。そのことから事業費は増加の傾向にあると見込んでいます。

大石委員 今後、どのように打合せをしていく予定なのか。

北田下水道総務課長 荒川右岸流域下水道事業の運営協議会を県が設置し、流域ごとに協議事項の情報提供をすることになっており、その会議の中で把握していくことになります。

谷口委員 流域下水道維持管理負担金返還金受入金の説明を願いたい。

北田下水道総務課長 県で平成 21 年度までに荒川右岸全体で約 72 億 6,000 万円の余剰

務課長

金が発生し、その余剰金に対して災害時の緊急復旧財源を含んだ事業運転資金の財源として15億円、赤字が発生した県北部5流域の過年度分の流域間貸借として約10億円、合計25億円を留保し、差引いた47億6,000万円が荒川右岸を構成する10市3町に返還されることになりました。

当市への返還額については、平成9年度から平成21年度までに処理した荒川右岸の総処理水量と各市町村の処理水量による按分で返還額を求め、11.57パーセントの按分率で約5億5,000万円と決定したものです。

大石委員

県の会計は別々に行っているのか。

北田下水道総

県の下水道局は平成22年に公営企業化しており、それ以前は一本化で

務課長

会計処理していましたが、現在は別々です。

大石委員

今後、そのようなことがあると、当市が位置する西部地域で収入したお金が北部に持っていかれて税金の二重取りという気がするが、そのような話はなかったのか。

北田下水道総

貸借関係については、当市が荒川右岸に接続した当時は赤字からの開始

務課長

だった時期があり、その時期については県で補填していただいた経緯があ

りました。そういった経緯からも各流域ごとに黒字のところも赤字のところもある中でやりとりしてきたところですが、今後は流域ごとの会計になることから赤字と黒字の貸借は明確になると思われま

小林委員

日本下水道協会負担金、日本下水道協会関東地方支部負担金、日本下水道協会埼玉県支部負担金がそれぞれ計上されているが、議案第32号に記載されている埼玉県下水道協会にも負担金はあるのか。

また、各負担金の割り出し方と組織関係について伺いたい。

北田下水道総務課長

「埼玉県下水道協会」という名称は、日本下水道協会埼玉県支部からの変更で本年の7月1日に施行されるため、今年度の予算については「日本下水道協会埼玉県支部」の名称で予算計上しています。予算は各構成員の会員となる地方公共団体等から1万円ずつの会費となっています。

小林委員

日本下水道協会負担金や関東地方支部負担金も各地方自治体で同額なのか。

北田下水道総務課長

日本下水道協会負担金については、積算が基本になる額と調整する額があり、基本額は人口割等区分で当市の場合、62万1,000円、調整額は前々年の総有収水量を基に算定しており、約38万円でこれが積算根拠となっています。

関東地方支部の負担金については、都市均等割額と、前年度の日本下水道協会の負担金本部会費の15パーセント相当の調整額が積算根拠となっています。

赤川委員 地方債の限度額の設定はどのように行われたのか。また、当市は交付団体になってきているわけだが、経営健全化計画の中で限度額と利率について今後、どのような見込みや可能性があるのか。

北田下水道総務課長 限度額については予算額と同額となっています。利率については、3パーセント程度を見込んでいますが、変動があるため余裕を持たせて5パーセント以内としています。

赤川委員 当市の財政状況によって決定していると考えてよいのか。

北田下水道総務課長 今後も状況によっては、繰上償還等を考慮して決めていきたいと考えています。

【質疑終結】

【意見】なし

【採決】

議案第10号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

(下水道部 所管部分)

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意見・採決保留】

○議案第12号「平成23年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計予算」

【補足説明】なし

【質 疑】

谷口委員 公共施設引継書作成委託料についてだが、どのような委託をしているのか。

新藤狭山ヶ丘
区画整理事務
所長 立体交差道路を引継ぐにあたって膨大な立体交差関係の資料があることから、今後は紙ベースの保管ではなく電子データベース化して保管したいと考えています。電子データベース化することで検索を容易に行い、また、維持・管理が迅速に行えるようにするためのものです。

赤川委員 紙ベースを電子データとして委託するということかと思うが、こういった作業は委託せずに職員間で行えなかったのか。また、引継書の作成委託は、その他の事業でも行われているのか。

畔見狭山ヶ丘
区画整理事務
所主幹 電子データ化の引継ぎについては、上新井地区区画整理事業地内の立体交差道路を建設部に引継ぐ際に行っており、公園課や下水道関係でも事例があります。

赤川委員 電子データの引継書はどのくらいの分量なのか。

畔見狭山ヶ丘
区画整理事務
所主幹

設計図書関係や関係機関の協議、または地質調査等のデータを全て電子化して引継ぐことになり、総量はA4判からA0判まで種々ありますが、モノクロデータが約6,700枚、カラーデータが約830枚あります。

大石委員

今回、所沢都市計画事業狭山ヶ丘駅東口土地区画整理特別会計予算と所沢都市計画事業第二上新井特定土地区画整理特別会計予算の二つが廃止され、所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計となったが、平成23年度の区画整理に関わる職員配置はどのように予定されているのか。業務量が減少してきているように思われるが、職員は異動や削減の対象になるのか。

新堀街づくり
計画部長

平成23年度は、狭山ヶ丘土地区画整理事業に関わる正規職員が5名、再任用職員が1名の合計6名で、狭山ヶ丘駅東口土地区画整理事業の清算金事務も併せて行っております。

第二上新井特定土地区画整理事業については、平成22年度から都市整備課に職員2名を配置して清算金事務を行っております。

現時点では平成23年度の配置に変更はないものと考えております。

荻野委員

先日、狭山ヶ丘の立体交差道路を通りかかった際に交通量調査を行っていたようだが、開通してから現在までの交通量の変化をどのように分析しているのか。

新藤狭山ヶ丘
区画整理事務
所長

直近の数字ですと、平成23年2月8日に午前7時から午前8時30分、午後1時30分から午後2時30分、午後5時から午後6時30分の時間帯で調査を行い、24時間あたりに換算して約4,200台の車両が通過しているものと推測しています。

荻野委員

開通当初からの変化はどのくらいあるのか。

新藤狭山ヶ丘
区画整理事務
所長

開通当初の平成20年5月27日と6月2日に同様な調査を行っており、24時間あたりに換算して約1,400台の車両が通過していたと推測しています。

福原委員

場所によっては交通安全対策などの地元住民の要望が出てきているかと思うが、狭山ヶ丘区画整理事務所に対して交通安全に関する要望や意見はあったのか。

新藤狭山ヶ丘
区画整理事務
所長

地元住民からの意見・要望により歩道に防護柵を設置し、道路上に安全対策を促すペイント表示を行い、さらに電柱に安全注意啓発の巻看板を設置するなどの対応をまいりました。

福原委員

公安関係が同席する交通協議のようなものはあるのか。

新藤狭山ヶ丘 必要がある場合には警察へ相談しております。現在、横断歩道の設置に
区画整理事務 関する問題について相談しておりますが、これにつきましては難しい状況
所長 です。

福原委員 交通安全対策などに関する建設部や各所管への引継ぎの予定はどのよ
うな状況なのか。

新藤狭山ヶ丘 建設部への引継ぎについては、立体交差道路の引継ぎを本年4月より行
区画整理事務 う予定です。その他の道路関係については、現在、狭山ヶ丘区画整理事務
所長 所で管理しております。

福原委員 修繕料とは道路修繕かと思われるが、例えば、街路灯や防犯灯の費用は
予算に計上されているのか。

新藤狭山ヶ丘 街路灯や防犯灯の費用については、今回の予算には計上しておりませ
区画整理事務 ん。
所長

福原委員 今回は見込みの予定はないということか。

新藤狭山ヶ丘 予算に見込んでおりませんので、対応はできない状況です。

区画整理事務

所長

福原委員

街路灯や防犯灯の設置要望があった場合には、担当所管に任せるという
ことでよいのか。

新藤狭山ヶ丘

担当所管にお願いしたいと考えています。

区画整理事務

所長

【質疑終結】

【意見】なし

【採決】

議案第12号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決
する。

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

街づくり計画部①所管部分（都市整備課、狭山ヶ丘区画整理事務所）

【補足説明】なし

【質 疑】

赤川委員

市営住宅管理事務費についてだが、事業仕分けで委託するべきだという結果になり、市は平成26年度を目途に民間委託していくと回答しているが、具体的な計画を伺いたい。

中村都市整備

現在の市営住宅管理業務については、平成26年度を目標に管理代行に移行していくことで具体的な検討作業を平成23年度から開始する予定です。

担当参事

赤川委員

なぜ、3年間が必要なのかについて伺いたい。

中村都市整備

すでに市営住宅の管理代行を実施している自治体から情報収集をしていますが、今後は入手した情報の精査・分析を庁内の関係各課と調整することや管理代行を依頼するための埼玉県住宅供給公社との協議・検討、その後、管理代行の移行計画を作成し、13団地の入居者への説明会が必要となります。また、平成25年度には市営住宅条例、あるいは施行規則等の改正といった作業も必要となるためです。

担当参事

赤川委員 管理代行することによって、どれくらいの経費削減を見込んでいるのか。

中村都市整備
担当参事 これまでの管理代行を実施している自治体からの情報収集のまとめでは、管理代行する分野・内容によってどのくらい経費削減できるかが比較しにくいのですが、大まかに申し上げると、市営住宅の管理に係る担当職員が数名減少する点が1番明確な部分であると思います。

赤川委員 本年度の事業費は例年どおりで増減はないということかと思うが、具体的に予算に表れてくるのは平成26年度からで、それまでは予算も含めて事業を継続していくということか。

中村都市整備
担当参事 その予定で考えています。

小林委員 毎年1月に市営住宅の空き家募集を行っているかと思うが、今年の倍率はどのくらいだったのか。

中村都市整備
担当参事 募集戸数としては17戸、それに対する申込み数が295世帯であり、倍率は17.3倍です。

小林委員	例年、そのぐらいの倍率なのか。
中村都市整備 担当参事	これまでの募集戸数に対しての申込み数は20倍前後あたりでしたので、今年は若干、下がっている状況です。また、募集戸数に加えて補欠分も1.5倍程度加味して募集しており、それらを含めた抽選の倍率ですと今年は10.5倍、過去を見ましても13~14倍となっています。
小林委員	倍率が下がってきていることからこの間の市営住宅は新たな建設や借上げが行われてこなかったかと思うが、これからの計画でも全く予定はないのか。
中村都市整備 担当参事	市営住宅の現状からすると、耐震化、あるいは老朽化した施設の課題・問題の解決を優先する必要がある、これからは修繕費用が平準化するような計画立てをしていく必要があると考えています。
小林委員	西所沢周辺に市営住宅が更地になったままの場所があるようだが、今後の計画はどのようなになっているのか。
中村都市整備 担当参事	西所沢北団地の木造住宅を解体した後の更地かと思いますが、これから現存している4階建て住宅の耐震改修も含めて、県や国と協議を行い、検討していく予定です。

【議案第9号 街づくり計画部①所管部分 質疑終了】

【意見・採決保留】

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

街づくり計画部②所管部分

(都市計画課、開発指導課、建築指導課、中心市街地整備課)

【補足説明】なし

【質 疑】

赤川委員 我が家の耐震診断・耐震改修補助金は平成22年度と比較して削減されているが、その内訳を伺いたい。

林田建築指導課長 平成22年度と比較して328万円の減額となっています。平成23年度は戸建て住宅の耐震診断が10棟、耐震改修も同じく10棟、共同住宅は木造の6戸程度のものを1棟、それぞれ耐震診断と改修の費用を計上しています。また、構造計算再チェックについては1棟を見込んでいます。

赤川委員 どの部分を削減したのか。

林田建築指導課長 昨年度までは分譲マンションのような大きな共同住宅を見込んでいたため、耐震診断で100万円、改修で300万円を減額し、6住戸程度の木造の共同住宅1棟を追加しました。

赤川委員 共同住宅というのはマンションではなくてアパートのことなのか。

林田建築指導
課長

一般的にはそのようなものになると思います。

福原委員

景観まちづくり看板等作成委託料だが、どのような看板をどこに設置する
のか。

森田都市計画
課主幹

景観まちづくりモデル事業のとことこガーデン及びご近所協定に登録
された方の庭先へ設置等していただくプレートの作成委託料、とことこ景
観賞に選定された資源を広く市民等へ周知するための看板を作成する委
託料です。

福原委員

作成枚数を伺いたい。

森田都市計画
課主幹

とことこガーデンプレートは100枚、ご近所協定のプレートは30
枚、とことこ景観賞の看板は10基を予定しております。

福原委員

設置個所や活用方法は、設置する方の意向によって決めること
ができる
のか。

森田都市計画
課主幹

所有者の方等と調整して設置したいと考えております。

谷口委員	プレートや看板の設置によって景観を損ねることはないのか。
森田都市計画課主幹	プレートや看板につきましては、市民の方のご意見をいただきながら作成していきたいと思いますが、設置場所周囲の景観を損ねることのないように配慮して設置したいと考えております。
大石委員	都市計画基礎調査業務委託についてだが、都市マスの変更についての考えを伺いたい。
森田都市計画課主幹	都市計画基礎調査につきましては、都市計画法に基づく都市計画の調査であり、用途地域等の見直しの根拠となる資料の作成などを行うものになります。今回の調査の結果は、所沢市まちづくり基本方針の見直しをする際には、その資料となるものです。
福原委員	景観まちづくり支援事業の新規事業概要調書の中の予算見込み額が、平成24年度から少しずつ減っている理由は何か。
森田都市計画課主幹	平成24年度は、とことこガーデンの景観資源等の登録等が増加していること、景観重要建造物及び景観重要樹木の看板等の新たな設置を考えていますので、平成23年度より予算見込み額が増えております。平成25年度以降につきましては、平成23年度からの周知、啓発に伴い、届出の

件数が横ばいになることなどを考慮した結果、予算見込み額は若干減らしております。

福原委員 とことこガーデンのプレートを平成24年度に追加して作成する費用が含まれるという理解でよいのか。

吉野都市計画課長 とことこガーデンのプレートは、スタートする平成23年度は100枚ですが、これまで各方面へ周知してきたことからすぐに広まって参加者は平成24年度以降は少し落ち着く一方、とことこ景観賞につきましては、平成24年度以降に市民への周知が進んでくると見込んでおります。当初、とことこ景観賞は材料出しがまだ少ないと思われるため平成23年度は10件ですが、平成24年度以降は20件ずつを見込んでいるため、平成23年度より平成24年度の見込み額が増えているものです。

福原委員 とことこガーデンの登録費用はかかるのか。

吉野都市計画課長 登録費用はかかりません。

課長

福原委員 平成24年度は平成23年度より約30万円増えているが、増額分の内容を伺いたい。

吉野都市計画課長	とことこ景観賞と景観重要樹木・建造物の看板設置が主な増額理由です。
谷口委員	とことこガーデンについては面積要件等の規定があるのか。
森田都市計画課主幹	とことこガーデンにつきましては、庭先や玄関先にプランターを置いていただくなど、身近な花づくりなどどなたでも気軽に参加していただくことが、大切だと考えておりますので、細かな基準等を設けることは特に考えておりません。
谷口委員	誰が申請をするのか。
森田都市計画課主幹	とことこガーデンについては、市民の方から市へ申請していただくことになります。
赤川委員	景観市民活動クラブ補助金を50万円とした理由と市民に対するPR方法を伺いたい。
森田都市計画課主幹	現在、景観計画策定当時から市民の方による4団体が景観市民活動クラブに仮登録していただいております、その団体を含めまして平成23年度中には10団体くらいが登録していただけるものと考えておりまして、登録さ

れた団体が円滑に活動していただけるよう支援させてもらうもので活動経費の合計額の2分の1以内で5万円を上限に10団体分の計50万円を予算計上させていただいたものです。また、PRについては、景観条例、景観計画につきまして、3月19日と20日に説明会の開催等を予定しているところです。

赤川委員 行政回覧は考えているのか。

森田都市計画課主幹 広報ところざわ、市ホームページへの掲載、景観情報誌の発行、景観まちづくりモデル事業のPR用ポスターなどにより、市民等への周知を図ってまいりたいと考えております。

大石委員 中心市街地再開発整備について、市の組織体制と取り組み方について伺いたい。

黒須中心市街地整備担当理事 中心市街地のまちづくりについては、今の状況の中で職員を増やしてという新たな展開にはならないと思っています。ただし、西武鉄道車両工場跡地の具体的な動向により、市としても職員を増員するなど第5次所沢市総合計画の前期基本計画に重点事業として位置づけていますので、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

大石委員 都市計画課の所沢駅周辺まちづくり推進室は、今後どのようなようになるのか、また、どのような活動をしていくのか。

新堀街づくり
計画部長 中心市街地整備課に移して「所沢駅周辺まちづくり基本構想」と所沢駅周辺のまちづくりの計画を体系的に管理していくということで庁内では議論をしている状況でございますので、結果については現時点で分かりかねます。

谷口委員 日東地区の住民には今の状況をどのように説明しているのか。

築茂中心市街
地整備課主幹 市から土地区画整理事業を提案したことがありますが、この話は進んでいません。一部の地区で部分的に先行して進めたいということで検討されているところがあります。

谷口委員 一部の人が部分的に先行したいということで検討しているようだが、地区の全体的な集会のようなものを定期的に行っているのか。

築茂中心市街
地整備課主幹 地区の全体的な集会等を開催しているとは聞いておりません。現在、地元関係者がどのような方法で再開発事業が進められるか検討している状況だと聞いております。

谷口委員

丸紅の跡地はそのまま何の進展もないのか。

築茂中心市街

特に何かを建設するといった話はありませんが、駐車場をやりたいとの

地整備課主幹

依頼を受けた業者から相談がありました。

小林委員

開発事業紛争調停委員会が今までに開催されたことはあるのか。

大館開発指導

現在の街づくり条例の制定後は、調停の申し出は1件もないため、開催

課長

されていません。

【議案第9号 街づくり計画部所管部分 質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前10時58分）

再 開（午前11時05分）

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

建設部①所管部分（公園課・営繕課・河川課）

【補足説明】なし

【質 疑】

荻野委員 樽井戸川第1調節池用地購入費の関係だが、この場所以外に借地はあるのか。

高橋河川課長 樽井戸川には3つの調節池があり、すべて借地です。その中の第1調節池の用地購入について今回計上したものです。

赤川委員 借地契約の内容とこの事業に対する国や県の関係について伺いたい。

高橋河川課長 借地契約は最長で10年、短いもので5年や3年があります。契約期間は双方の事情を考慮して合意の上で設定しています。現在、市が管理する水路に対する用地買収についての国及び県の補助メニューはありません。

福原委員 公園費の施設修繕料の積算根拠を伺いたい。

吉澤公園課長 市民プール、公園の園路広場、遊具施設、トイレなどの便益施設、電気設備、管理施設、フェンスなどの修景施設などの修繕費用として、1件当たり20万円で125件を想定しています。

福原委員	すべての項目について1件20万円と見込んでいるのか。
吉澤公園課長	平成19年度は129件、20年度は123件、21年度は125件、22年度は109件の修繕を実施し、修繕料の平均が1件当たり16万円から21万円という実績に基づき積算しました。
赤川委員	遊具点検委託は、事業仕分けで民間委託との結果であったが、委託料の内訳と民間委託化について確認したい。
吉澤公園課長	遊具の点検は、年1回の精密点検は業者委託、年2回の定期点検と1カ月に3回程度の日常点検は職員が対応しています。事業仕分けでは定期点検及び日常点検の職員が関わっている部分で人件費が高いのではないかと指摘がありました。これまで5年間の遊具の点検計画を作成していましたが、計画を1年前倒して23年度中に終了させる形で予算計上しました。24年度以降は23年度の点検結果に基づき新たな計画を策定するとともに、自治会等地域の方々や市民ボランティアなどに簡単な遊具の点検をお願いすることも検討しています。
赤川委員	どこまで業務委託がなじむと考えているのか。
吉澤公園課長	専門的な知識を必要とする遊具の点検や特殊な機械を持ち込み遊具の

分解等が必要な点検は、これまで通り精密点検として業者委託でお願いしたいと考えています。

赤川委員 定期点検などは市の職員が行うことでよいのか。

吉澤公園課長 市の職員とともに地域の方々、ボランティア団体等も含めて検討していきたいと思います。

小林委員 市民プールの修繕箇所を伺いたい。

吉澤公園課長 施設修繕料2,500万円のうち200万円を予定しており、内容については、過去にはウォータースライダー、プール槽の塗装、ろ過装置等の対応をしてきましたが、実際には6月中にプール水を抜いた後に詳細を決めたいと思います。

小林委員 市民プールは平成23年度限りで閉鎖ということだが、プールに関する新たな計画はあるのか。

吉澤公園課長 教育委員会から市民プールの運営をやめるという方針が示されましたが、現時点では新たな計画については考えていません。

小林委員	主導するのは教育委員会になるのか。
吉澤公園課長	市民プールは教育委員会の運営ですが、北野公園の施設全体は公園課の所管ですので、今後の市民プールの跡地利用は、関係各課と調整を図りながら進めていきたいと考えています。
小林委員	市民プールは北野公園の中にあるので、公園課が管轄もしているという意味なのか。
吉澤公園課長	市民プールの施設整備等は、北野公園内にある施設として公園整備の中で行っています。
小林委員	公園内にプールをつくりかえる場合には、建設部が関係してくるのか。
吉澤公園課長	そのような整備方針が示されれば、公園課で整備していくこととなります。
小林委員	公園課として積極的に公園内のプールを建て替えるなどの方針はないのか。
吉澤公園課長	建設部だけでプールの建て替えの方針を示すことはありません。

谷口委員 小手指ケ原公園用地購入費について、購入後の用地の割合を伺いたい。

吉澤公園課長 17.4ヘクタールの計画面積のうち買収済み面積は1.13ヘクタール、約6.5パーセントになります。

谷口委員 カルチャーパークを優先し、次に小手指ケ原公園の用地購入を進めるという方針に変更はないのか。

吉澤公園課長 カルチャーパークにつきましては約30パーセントの用地買収と管理棟などの施設整備も残り、供用開始も約10パーセント程度ですので、なるべく早い時期にカルチャーパークの整備を進め、一段落した時点で小手指ケ原公園の事業認可を受けたいと考えています。

【議案第9号 建設部①所管部分 質疑終了】

【意見・採決保留】

○議案第36号「市道路線の認定について」

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意 見】なし

【採 決】

議案第36号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第37号「市道路線の認定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

赤川委員 県道が開通するまでの間、暫定的に市道認定するという例はあるのか。
また、県との事務手続きについて伺いたい。

沖本建設部長 都市計画道路東京狭山線の国道463号から南側部分の一部を市道認定して暫定的な供用開始をしてきた経緯があります。川越県土整備事務所から都市計画道路飯能所沢線の一部供用に伴う市道認定について依頼文書が来ております。

赤川委員 県との間で文書の取り交わしなどはあったのか。

沖本建設部長 現時点では打合せ事項でございます。

大石委員 土地の取得に対して、県が強制執行するのかどうかについて、どういう打ち合わせをしているのか。

師岡建設総務課長 収用法による事務手続きを進めているところでございます。

大石委員	現在のスケジュールについて説明願いたい。
沖本建設部長	現在、仮橋を作っていますが、その後、飯能所沢線に本橋を作る工程になります。この工事に合わせて用地の手続きも進んでいくと伺っています。
大石委員	飯能所沢線だが、スーパーあまいけまでの開通目標を伺いたい。
森田計画道路 整備課長	スーパーあまいけまでの暫定的な開通は平成26年3月を目途と聞いております。
高田委員長	この市道5-1991号線は仮の道路なのか。
沖本建設部長	今回認定をお願いしている市道5-1991号線の道路が曲がっているのは既設の川島田橋の上流に仮橋を架けるためです。
高田委員長	飯能所沢線と説明しているが、案内図では東京所沢線と表示されている。本当の道路の名前は何か。
沖本建設部長	岩崎交差点から北は供用しておりますので、主要地方道東京所沢線という県道名を使用しています。岩崎交差点南側の現在整備している道路は、

都市計画道路飯能所沢線です。

高田委員長

飯能所沢線はこのまま南に真っ直ぐ整備されるのか。

師岡建設総務

南へ真っ直ぐ進みまして、スーパーあまいけのところまで行きます。

課長

高田委員長

その先はどうなっているのか。

森田計画道路

その先については、現時点では未定と伺っております。

整備課長

【質疑終結】

【意見】なし

【採決】

議案第37号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

建設部②所管部分

(道路総務課・道路建設課・計画道路整備課・道路維持課)

【補足説明】なし

【質 疑】

福原委員 北野下富線道路築造費に関してだが、計画の進捗状況を伺いたい。

森田計画道路
整備課長 島忠から立正佼成会までの260メートルの区間の現在の用地買収率は52パーセントです。また、市道3-5号線から松葉道北岩岡線までの470メートルの区間の用地買収率は84パーセントで昨年と変わっておりません。

福原委員 道路計画については今のところ予定通りという認識でよいか。

森田計画道路
整備課長 市道3-5号線から松葉道北岩岡線までの区間については、困難地権者がいることで昨年から動きはありませんが、引き続き交渉を進めている状況です。

福原委員 島忠から立正佼成会までの区間についての開通予定を伺いたい。

森田計画道路 平成25年度末の完成を目標にしています。

整備課長

【議案第9号 当委員会所管部分 質疑終結】

【意見・採決保留】

休 憩（午前11時43分）

再 開（午前11時45分）

○議案第9号「平成23年度所沢市一般会計予算」当委員会所管部分

【意見】なし

【採決】

議案第9号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○閉会中継続審査申出の件（特定事件）

閉会中継続審査申出の件については、別紙のとおり申し出ることとした。

散 会（午前11時47分）